



# 第61期 中間報告書

平成30年4月1日から平成30年9月30日まで



ロームシアター京都

## ローム株式会社

証券コード 6963



代表取締役社長 藤原 忠信

## 業績の概要

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦問題に伴ない先行き不透明感が台頭しましたが、足もとの実体経済は、主要国を中心に堅調に推移しました。

エレクトロニクス業界におきましては、自動車関連市場は、新車販売台数が米国では減速しましたが、中国やアジア、欧州などで増加したことに加え、「安全」、「環境」などに対するニーズの高まりからエレクトロニクス製品の実装率の向上が続き、好調に推移しました。産業機器関連市場につきましては、前半は工場の自動化やIoT化の進展などによりFA機器関連市場が堅調に推移しましたが、後半は減速傾向となりました。民生機器関連市場につきましては、省エネルギー型エアコンなど白物家電製品市場は堅調に推移しましたが、パソコンやスマートフォン関連市場は、回復力が弱い状態が続きました。

ロームグループにおきましては、従来に引き続き、中長期的に成長が期待される自動車関連市場や産業機器関連市場などへの製品ラインアップ強化や、両市場及び海外市場への販売強化を進めました。また、「アナログソリューション」、「パ

ワーソリューション」など、ロームグループが強みを持つ技術領域を中心とした、新製品・新技術の開発と、それらを組み合わせたソリューション提案の強化にも努めました。また、「Zero Defect (不良ゼロ)」の実現に向けた先進の品質管理体制の構築やスマートファクトリー化の推進などの「生産革新」を進めました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,108億2千3百万円(前年同期比5.2%増)となり、営業利益は353億7千万円(前年同期比18.8%増)となりました。

経常利益につきましては、441億6千2百万円(前年同期比41.5%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は309億4千8百万円(前年同期比33.9%増)となりました。

## 今後の見通し

世界経済は緩やかながら景気の回復が続いており、エレクトロニクス市場においても自動車関連市場や産業機器関連市場などが堅調に推移しております。そのため、売上については期初予想通りに推移する見込みです。営業利益については期中平均レートが期初予想よりも円安で推移していることな

どにより、期初予想を上回る見通しです。加えて、期初の予想以上の円安による為替差益の発生などにより、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても、期初予想を上回る見通しです。

以上のような状況を踏まえ、平成31年3月期の通期連結業績予想につきまして、下記のとおり見込んでおります。

## 通期業績予想(連結)

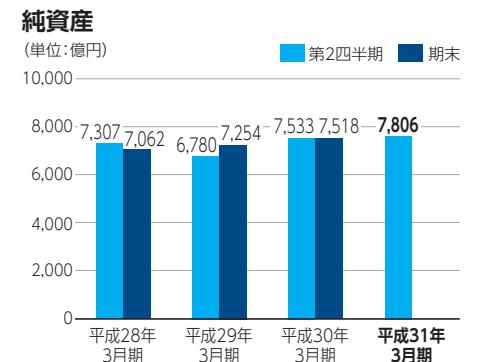
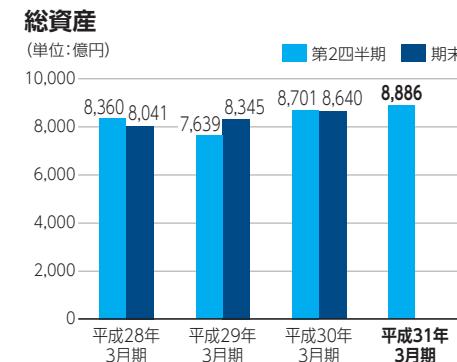
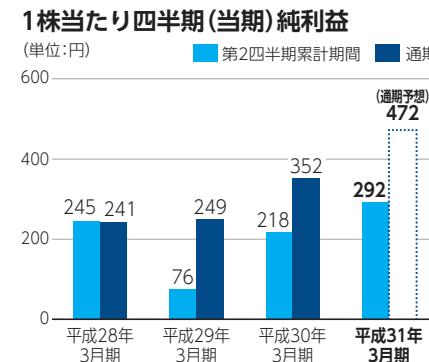
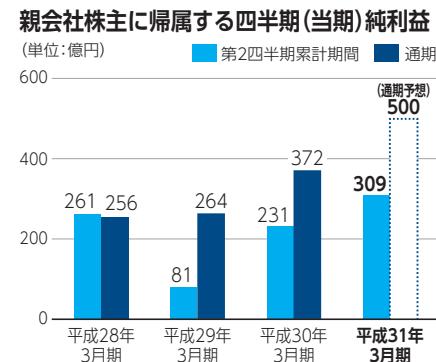
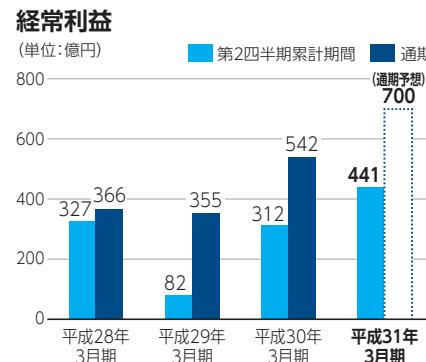
(単位:億円)

	平成30年3月期	平成31年3月期予想	前期比増減率
売上高	3,971	4,200	+5.8%
営業利益	570	620	+8.8%
経常利益	542	700	+29.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	372	500	+34.2%

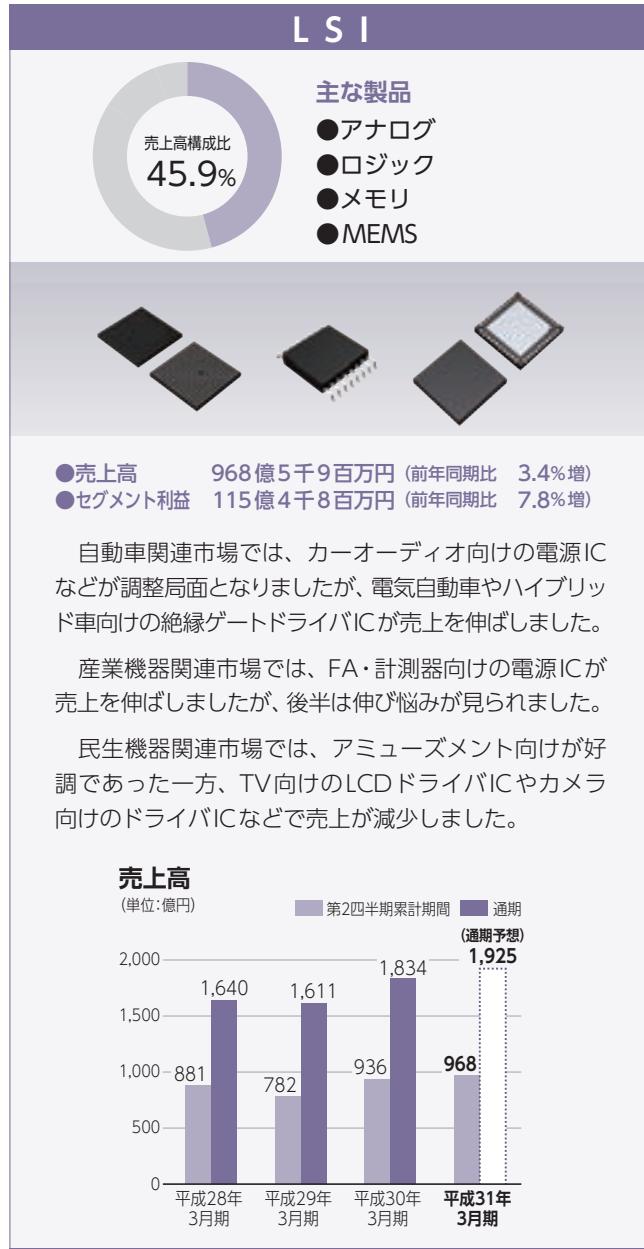
※平成31年3月期下期の為替レートは、1米ドル=110円を前提としております。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第61期第2四半期累計期間(平成30年4月1日から平成30年9月30日まで)における概況をご報告申し上げます。



# セグメント別の概況



## ローム・アポロ筑後工場に新棟建設 SiCパワーデバイスの生産能力を強化

ロームは、需要が拡大するSiC（シリコンカーバイド）パワーデバイスの生産能力の強化を図るため、ローム・アポロ筑後工場（福岡県）に新棟を建設します。

Si（シリコン）に比べて電力交換時に発生するエネルギーのロスを大幅に削減できるSiCは、世界的なエネルギー対策のカギを握ると期待されています。

ロームでは、2010年にSiCパワーデバイスの量産を開始して以降、世界で初めてフルSiCパワーモジュールの量産を開始するなど、業界をリードする技術開発を進めています。

新棟は、地上3階建て、延べ床面積約2万㎡で、2019年の着工、2020年の竣工を予定しています。



完成予想図

## 産業機器や家電の性能向上に貢献 低ノイズCMOSオペアンプを開発

ロームは、微小信号を扱う光センサや、ハードディスクで使われる加速度センサなど、高精度なセンシングを必要とする産業機器アプリケーションに向けて、低ノイズCMOSオペアンプ [LMR1802G-LB] を開発しました。

オペアンプは、温度や衝撃など、さまざまな環境・物理的变化についてセンサが出力する微小信号を増幅させる役割を担います。近年、モバイル機器や自動車、産業機器などは、高度な制御を行うためにセンサを搭載しており、信号を高精度に伝達するため、オペアンプのノイズに対する要求は一層高まっています。

今回開発した [LMR1802G-LB] は、市場流通品に比べ圧倒的な低ノイズ性能を備えるとともに、高い安定性を実現しており、高精度のセンシングを必要とする産業機器や家電の性能向上に貢献します。



LMR1802G-LB

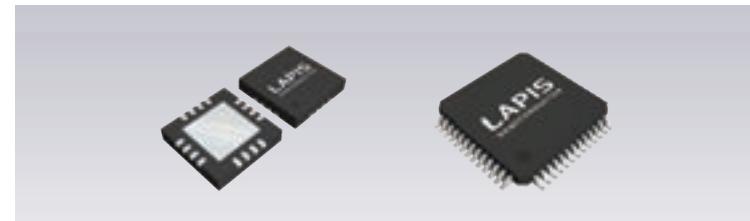
## 家電などでの幅広い用途に対応 業界トップクラスの120機種をラインアップ

ロームグループのラピスセミコンダクタは、生活家電や白物家電、警報・防犯機器などの産業機器向けに、オリジナルの16ビットCPUコアを搭載した汎用マイコン「ML62Q1300/1500/1700グループ」を開発しました。

マイコンは、成長著しい中国やアジア諸国の家電市場においては、環境の変化や類似製品の開発に対応するため、多種多様なニーズに素早く対応できる製品ラインアップが求められており、また、高性能・多機能化が進む国内の家電製品向けでは、メモリの大容量化などに対応できる製品ラインアップが求められています。



今回開発したマイコンは、こうしたニーズを受けて、プログラム容量などの違いで120機種からなる業界トップクラスのラインアップを取り揃え、幅広い用途に対応しています。さらに、従来のローパワーや高いノイズ耐性といった特長に加え、マイコン内部の故障を検知する自己診断機能を備えるなど、安全性も高めています。



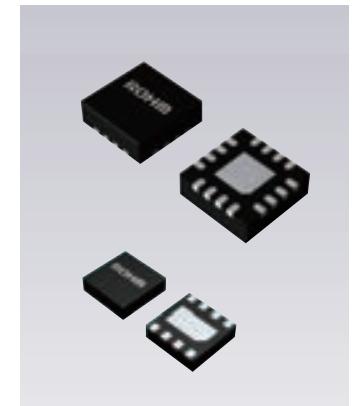
ML62Q1300/1500/1700グループ

## 事故防止対策や自動運転化など自動車の進化に貢献 超小型降圧DC/DCコンバータを開発

ロームは、自動車のセンサやカメラ、レーダーなど安全運転支援モジュール向け降圧DC/DCコンバータ「BD9Sシリーズ」を開発しました。

降圧DC/DCコンバータは、バッテリーなどから供給された電力を、モジュールが求める電圧に降圧するもので、各種モジュールに組み込まれます。自動車に搭載されるセンサやカメラモジュールは、事故防止対策や自動運転化が進む中、搭載数が増加する傾向にあり、自動車のデザイン性や軽量化、消費電力低減の観点から、小型化や省電力化が求められています。

今回開発した「BD9Sシリーズ」は、業界最小クラスの2mm角と3mm角の製品を、出力電流に合わせて幅広くラインアップ、さらに、業界トップクラスの電力交換効率を達成するなど、安全運転支援モジュールの小型化、省電力化に貢献します。



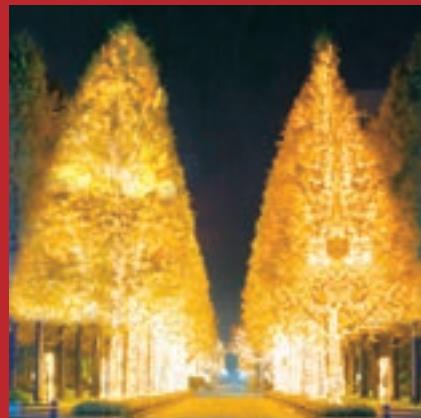
BD9Sシリーズ

## 京都市最大級のイルミネーションを今年も開催!

11月22日から12月25日までの約1カ月間、京都本社周辺でイルミネーションを実施しています。本社に面した佐井通り（春日通り）沿いの並木道を中心とした86本の木々に、86万球の電球を点灯。土日祝日は大学生のアカペラコンサートや参加型イベントも実施しています。冬の夜を明るく照らすロームのイルミネーション。みなさまのお越しを心よりお待ちしております。

**開催場所** 京都市右京区西院溝崎町21 ローム株式会社 本社周辺

**点灯時間** 16時45分から22時まで



ローム本社周辺のイルミネーション

# 四半期連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

科目	当第2四半期 (平成30年9月30日)	前期 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>520,752</b>	<b>504,182</b>
現金及び預金	271,052	264,600
受取手形及び売掛金	99,134	85,292
電子記録債権	5,611	5,409
有価証券	26,429	41,221
商品及び製品	28,230	27,563
仕掛品	47,884	41,643
原材料及び貯蔵品	32,694	29,082
未収還付法人税等	161	205
その他	9,665	9,620
貸倒引当金	△112	△457
<b>固定資産</b>	<b>367,927</b>	<b>359,889</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>247,594</b>	<b>240,227</b>
建物及び構築物	73,381	73,298
機械装置及び運搬具	74,399	72,752
工具、器具及び備品	7,620	7,673
土地	66,997	66,809
建設仮勘定	25,194	19,691
<b>無形固定資産</b>	<b>4,709</b>	<b>5,410</b>
その他	4,709	5,410
<b>投資その他の資産</b>	<b>115,623</b>	<b>114,251</b>
投資有価証券	97,669	94,615
退職給付に係る資産	2,279	2,073
繰延税金資産	5,384	5,974
その他	11,004	12,199
貸倒引当金	△714	△612
<b>資産合計</b>	<b>888,679</b>	<b>864,072</b>

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 (平成30年9月30日)	前期 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>73,952</b>	<b>78,055</b>
支払手形及び買掛金	14,847	13,788
電子記録債務	4,495	4,903
未払金	19,348	25,936
未払法人税等	11,075	10,423
その他	24,185	23,004
<b>固定負債</b>	<b>34,056</b>	<b>34,138</b>
繰延税金負債	22,087	21,735
退職給付に係る負債	10,492	10,136
その他	1,476	2,266
<b>負債合計</b>	<b>108,009</b>	<b>112,194</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>779,991</b>	<b>761,736</b>
資本金	86,969	86,969
資本剰余金	102,403	102,403
利益剰余金	638,407	620,151
自己株式	△47,789	△47,788
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>201</b>	<b>△10,311</b>
その他有価証券評価差額金	34,189	33,931
為替換算調整勘定	△30,728	△40,666
退職給付に係る調整累計額	△3,259	△3,576
<b>非支配株主持分</b>	<b>476</b>	<b>452</b>
<b>純資産合計</b>	<b>780,670</b>	<b>751,877</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>888,679</b>	<b>864,072</b>

## 四半期連結損益計算書

科目	当第2四半期 累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	前第2四半期 累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>売上高</b>	<b>210,823</b>	<b>200,436</b>
売上原価	131,857	127,959
<b>売上総利益</b>	<b>78,966</b>	<b>72,477</b>
販売費及び一般管理費	43,595	42,715
<b>営業利益</b>	<b>35,370</b>	<b>29,761</b>
営業外収益	9,560	2,221
営業外費用	768	769
<b>経常利益</b>	<b>44,162</b>	<b>31,212</b>
特別利益	17	92
特別損失	914	412
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>43,265</b>	<b>30,892</b>
法人税、住民税及び事業税	12,256	8,703
法人税等調整額	44	△931
法人税等合計	12,300	7,771
<b>四半期純利益</b>	<b>30,964</b>	<b>23,121</b>
<b>非支配株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>16</b>	<b>12</b>
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>30,948</b>	<b>23,108</b>

(単位：百万円)

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当第2四半期 累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	前第2四半期 累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,773	35,083
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,372	△28,602
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,705	△8,478
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,533	3,098
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,771	1,101
現金及び現金同等物の期首残高	243,973	246,015
現金及び現金同等物の四半期末残高	242,202	247,116

(単位：百万円)

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 若手音楽家を支援しています 奨学生によるスカラシップコンサートを開催

ロームグループが支援する公益財団法人ロームミュージックファンデーションは、音楽文化の普及と発展のために様々な事業を行っています。

中でも、若い音楽学生に対する奨学援助は、設立以降28年にわたって継続している



スカラシップコンサート

る主力事業であり、給付を受けた奨学生は464名に上ります。8月に、今年度の審査の結果採択された30名に対する認定式と、併せて2016年度、2017年度を中心とした奨学生による報告会や、演奏会「スカラシップコンサート」を開催、約1,400人のお客様にフレッシュな演奏を披露しました。

またロームミュージックファンデーションでは、これまで幅広い事業で支援をさせていただいた4,400名の音楽家の方々に「ロームミュージックフレンズ」と名付け、様々な交流を続けることにより、音楽文化の普及に貢献しています。



### 清華大学で「清華-ローム電子工程館」 調印10周年記念式典を開催

9月25日に清華大学において、「清華-ローム電子工程館」の寄贈に関する調印10周年記念式典を開催しました。

電子工程館は、清華大学創立100周年となる平成23年に竣工・運用を開始し、電子工学の研究教育施設として世界初の強誘電体不揮発性プロセッサの開発など、世界トップクラスの学術研究活動を支えてきました。



電子工程館

清華大学とロームの長期にわたる交流を支えてきた関係者が出席した式典では、電子工程館の歩みや、共同研究の成果が報告されました。

今後、清華大学とロームは、人工知能、次世代自動車、スマートファクトリーなどに関する要素技術の産学連携協同研究を進め、産業の技術革新に貢献してまいります。

### フィリピンの現地法人が CSR Award 2018を受賞

フィリピンの生産拠点ROHM Electronics Philippines, Inc.がカテナ州カルモナ市より「CSR Award 2018」を受賞しました。

優れた社会貢献活動を実施した企業に贈られた本賞には、同市にある製造業492社のうち9社が選出されました。ROHM Electronics Philippines, Inc.では、地元の小学生への眼鏡の寄付や、小学生対象の環境ポスターコンテストの開催、植林活動など地域に根差した社会貢献を行っており、今回の受賞は、こうした活動が評価されたものです。

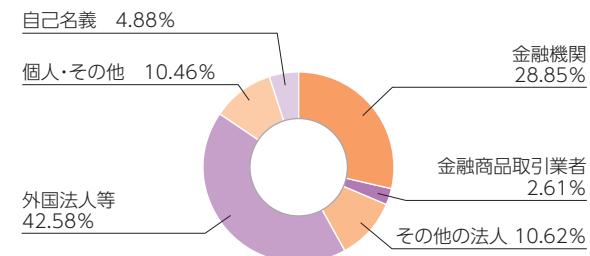


表彰式典の様子

### 株式の状況

発行可能株式総数 300,000,000株  
発行済株式総数 111,200,000株 (自己株式5,425,946株を含む)  
株主数 27,541名

### 所有者別株式分布状況

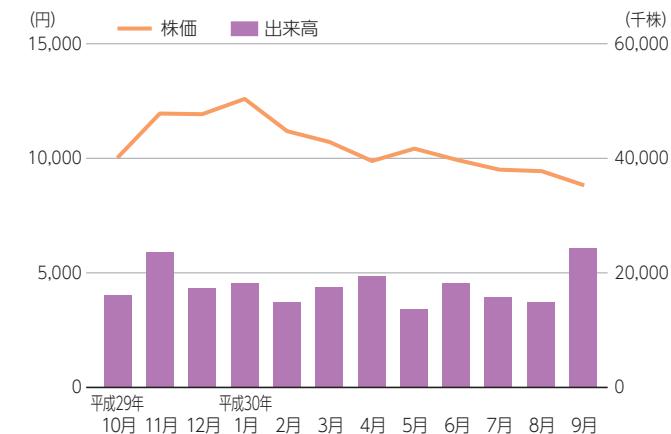


### 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	9,118	8.62
公益財団法人 ロームミュージックファンデーション	8,000	7.56
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	7,387	6.98
株式会社京都銀行	2,606	2.46
佐藤 研一郎	2,405	2.27
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	2,303	2.17
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,991	1.88
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5)	1,817	1.71
BBH FOR MATTHEWS ASIA DIVIDEND FUND	1,663	1.57
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	1,526	1.44

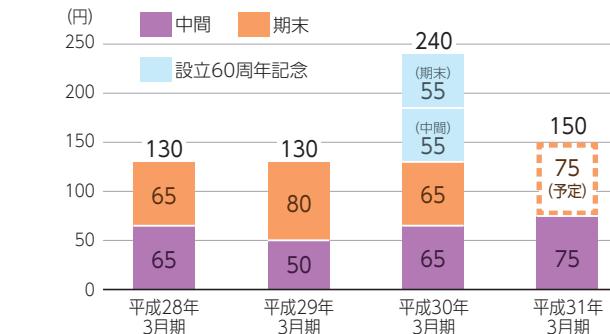
(注) 1.持株数は千株未満を、持株比率は小数点第2位未満を、それぞれ切り捨てて表示しております。  
2.当社の自己株式(5,425千株)は、上表から除外しております。  
3.持株比率は発行済株式の総数から自己株式を除いた数に基づき、算出しております。

### 株価と出来高



(注) 株価は各月の取引日の終値の単純平均を、出来高は月間の推移を表示しております。

### 配当金の推移



ローム ホームページ  
<https://www.rohm.co.jp>

投資家情報  
<https://www.rohm.co.jp/web/japan/investor-relations>





## 社名について

半導体メーカー・ローム (ROHM) の社名由来は創業当時の生産品目である抵抗器 (Resistor) の頭文字「R」に抵抗値の単位Ω [ohm] を組み合わせましたものです。「R」は信頼性 (Reliability) にも通じており、品質を第一とするロームの企業姿勢を示しています。

## ■ 会社概要

**社名** ローム株式会社  
(ROHM COMPANY LIMITED)

**本社** 〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町21  
TEL (075) 311-2121  
FAX (075) 315-0172

**設立年月日** 昭和33年9月17日

**資本金** 86,969百万円

**従業員数** 3,230名 (ロームグループ23,318名)

## ■ 役員 (平成30年9月30日現在)

※取締役社長 藤原 忠信  
専務取締役 東 克己  
取締役 松本 功  
山崎 雅彦  
末永 良明  
上原 邦生  
吉見 晋一  
佐藤 研一郎  
川本 八郎  
西岡 幸一  
監査役(常勤) 仁井 裕幸  
柴田 義明  
監査役 千森 秀郎  
村尾 慎哉  
喜多村 晴雄

(注)

- ※印は、代表取締役であります。
- 取締役 川本八郎及び西岡幸一の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
- 監査役の5名は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
- 当社は、取締役 川本八郎、西岡幸一の両氏、及び監査役の5名を、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、当該取引所に届け出ております。

## ■ 株主メモ

**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで

**株主確定の基準日** 定時株主総会、期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日

**単元株式数** 100株

**株主名簿管理人** 三菱UFJ信託銀行株式会社

**同事務取扱場所** 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号  
TEL (0120) 094-777 (通話料無料)

**金融商品取引所** 東京証券取引所

**公告方法** 以下の当社ホームページに掲載しております。  
<https://www.rohm.co.jp>

(ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします)

## 【株式に関するお手続きについて】

「住所・氏名のご変更」、「配当金受け取り方法のご指定」、「単元未満株式の買取請求」、「単元未満株式の買増請求」等各種お手続きの窓口は、次のとおりとなります。

なお、株券電子化までに証券保管振替機構(ほふり)を利用されなかった株式につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に管理口座(以下、「特別口座」といいます)で管理されております。

- 証券会社等の口座にて保有されている株式にかかるお手続き  
→お取引のある証券会社等にご照会ください。
- 特別口座にて保有されている株式にかかるお手続き  
→特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社に照会ください。

なお、下記のご照会等につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

- 「支払期間経過後の配当金に関するご照会」
- 「郵便物等の発送と返戻に関するご照会」
- 「株式事務に関する一般的なお問合せ」

## 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

住所：〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号  
テレホンセンター：(0120) 094-777 (通話料無料) (受付時間：平日9:00～17:00)  
ホームページ：<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

## ローム株式会社

本社 〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町21  
TEL (075) 311-2121 FAX (075) 315-0172  
URL <https://www.rohm.co.jp>

